

## 景況実感調査(11月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 10月比で売上数量、収益ともに落ち込んだ。目立って好調な分野もない。市中価格は下げ感が引き続きあるも、大きな変動はないと思われる。
- ② まとまった物件の納期が月中発生したため、対前月・前年ともに売上・数量が増となった。通常の店売りについては、低調な商いが続いている。特に建築関連は施工能力の限界ばかりでなく、野丁場、住宅関連を問わず物件数も目立って復調の気配や胎動が感じられない。増税前の駆け込みの反動が長引いているのと、施工価格の上昇が影響していると思われる。円安もあるが、原油価格や鉄鉱石、石炭などの国際価格の下落が国内消費を盛り上げてくれることを期待したい。併せて、中国からの輸入玉も年明けには底を打つのではないか。いずれにしろ需要家は、鉄は上がらないと感じ始めている。価格維持に努力したい。
- ③ 秋需、鋼材市況の低迷に喘いでいる。
- ④ 売上、数量ともに稼働日が少ないため減少。

### 中板

- ① 11月は稼働日数減もあるが、販売・加工ともに急ブレーキがかかった。12月になっても代り映えせず、このまま年末を迎えてしまいそうである。
- ② 稼働日数減以上に販売数量減。例年と違いたいへん厳しい11月であった。店売り価格は停滞しており、年末に向けて引合いも少ない。
- ③ 相変わらず短納期の仕事ばかりが多く、先行きの話もなく、予測が全くつく状況ではない。身近に閉鎖、廃業、倒産が3件ほどあり残念だ。

### 厚板

- ① 鉄骨の受注が遅れ、人手不足を理由に物件が先送りされている。年度内は期待薄である。
- ② 10月が非常に良かったので、10%以上減とはいえ、暇なわけではない。

### 一般開金鋼

- ① この時期、例年通り忙しい。現場情報では、物件は多いがすべて職人不足で着工できないとのことだ。
- ② 諸指標は前月比でほぼ横這いだが、厳密には「やや減少」の結果となった。例年10月よりも11月のほうが好調なので「やや減少」の結果には、期待していた分落胆した。去年の今頃から今年の3月までは、社内でトラックの奪い合いをしていたが、今年は平穏であろう。仕事は有るので余計な期待感捨てて着実な営業をせよと示唆された月だった。

## 工I形鋼

- ① 稼働日数の減少や先安感から出荷量が落ち込み気味だが、荷動きは悪くない。期待感が大きかったので反動が出ているが、需給のバランスを整えば状況が変わる。
- ② メーカー対応の変化により市況の下げ止まりが不透明になってきた。今のメーカーネットでは、生産すれば利益が出るので、メーカーの我慢には期待できない。先が読めない状況になっている。

## 異形棒鋼

- ① 鉄筋の倉出しは小ロット、即納、要る物だけでまとまった量にはならないが、それなりの秋需の動きだった。単価も1円/kgがた下がったが、それほど変わってはいない。
- ② 昨年と違い実需は減少、静かな年末となってきた。荷動きが悪い割には、市況は横這いで推移しており、製販とも我慢の環境である。

## 平鋼

- ① 11月の荷動き状況は横這いで推移。稼働日が少ないために量が動かず、期待感があっただけに雰囲気は良くない。足下、建築関連の動きが悪く、加工は引き続き忙しいが荷は動いていない。価格は建築関連がストップし雰囲気は弱含んでいるが横這い。
- ② 日割りの出荷量は10月並み。日数が少ない分、月次は前月比減。

## 車径量開鋼

- ① 仕入先の値上げ状況から、ようやく各メーカーが販売単価の是正に向けて動き出した。需要は堅調であり、先々の引合いに対する値上げは、話を聞いてもらえる環境が整いつつある。ただし、現状の納入現場に対する見積りは底値時点のものが多く占めており、採算改善に寄与するのはまだまだ先だ。
- ② 建築着工の遅れから、例年の閑散期、繁忙期のずれが発生している。

## 鋼管

- ① 9月以降、出荷は増加傾向にあるが勢いは弱く、当面この水準で推移すると思われる。
- ② 遅れている現場もあり、工事が始まれば好転すると予想。現場が遅れているため在庫過多。
- ③ 実需が止まっている。
- ④ 売上は昨年と同レベルであったが、利益率は悪くなった。株高ではあるが、円安により材料高と諸経費が上がっていくのは覚悟する必要がある。

## 構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品は国内の自動車販売減や、円安でも現地調達化が進んでいる状況にあり、先々不透明となっている。建設機械関連については、中小型機向けは比較的堅調。また、工作機械、産業機械関連も底堅い動きとなっている。店売りの荷動きは、全体的に不透明感はあるが好転を期待している。市況は横這いで推移している。
- ② 今後の予測が難しい。

## その他

### <曲げ加工>

- ① 11月に入り、加工売上は増加につながったが、外注加工の大口があったために粗利益そのものはあまり良くなかった。例年通りだが、9、10、11月はだいたい忙しい状態が続く傾向にある。ただし、全体的には、まだ経済状況が中小企業にまで届いていないようである。

### <スクラップ>

- ① スクラップ発生は低迷しているのに、販売価格は上がる気配はなく、むしろ年末にかけては更に弱くなっていくのではないか。
- ② 産業の空洞化が進んでいる。

### <金属表面処理加工>

- ① 11月は稼働日数が前月比で減であったものの客先の工程進捗が順調で、物件物、紐付き材とも予定通りの処理量となった。スポット物も中旬以降は引合いが低調となるも、前月と同様の扱い量となる。付加価値の高い加工が多く、今後も数量、売上とも高いレベルで推移すると予想。